

## 「十両」の幸福を求めて

ヤブコウジは、少なくとも数年間、同じ葉を付け続けます。赤い実も野鳥に食べられるまで決して落ちることはありません。このことから「丈夫でめでたい」ものとされ、古典落語『寿限無』の一節でも「やぶらこうじのぶらこうじ」と名を連ねています。花言葉の『明日の幸福』は、永遠の命を感じさせるからでしょうか。

縁起が良いものとして、お正月飾りには真冬に赤い実を付けるナンテンがよく用いられます。「ナンテン＝難を転じる」からです。その他にも金運に恵まれるよう縁起を担ぎ、「千両、万両、有り通し」といって、センリョウ、マンリョウ、アリドオシを飾り付けます。センリョウは真っ赤な実をたくさん付けますが、マンリョウはもっと多くの赤い実を付けます。アリをも突くことができるとされる鋭いトゲを持つアリドオシは、赤い実を1つだけ付けるので「一両」と呼ばれています。ヤブコウジは、アリドオシよりも少しだけ多く赤い実を付けるので「十両」です。ちなみに「百両」は、江戸時代、高価で百両以下では手に入らなかったカラタチバナのこと。

新しい年を迎え、千両や万両ではなくても、身の丈に合わせた「十両」ほどの金運に恵まれますよう、ヤブコウジを正月飾りに添えてみてはいかがでしょうか？



森	の
日	記

## 中学生の職場体験 11月2日(金)

西陵中学2年生の3人が職場体験に訪れ、羊の世話や植栽、急斜面の落ち葉掃除など、一生懸命活動してくれました。



後日届いた手紙には「初めて仕事の辛さ、楽しさを知りました。楽しいことの裏には辛いこともある。勉強も同じです」と書かれており、子どもたちの成長を感じました。

## 葉っぱのしおり作り 11月4日(日)



赤や黄色に色づいた落ち葉を集め、台紙に貼り付け、特殊フィルムに挟んで加熱器械に通せば…お気に入りの「葉っぱのしおり」の完成です！

## 教室のご案内

## 1月

バードウォッチング(自由参加)  
1月27日(日) 9:00~11:30  
真冬の野鳥を観察(雨天中止)

## 2月

シイタケ教室(要申込・定員30人)  
2月3日(日) 9:00~11:30  
原木にシイタケの菌を打ち、育て方を学ぶ

バードウォッチング(自由参加)  
2月24日(日) 9:00~11:30  
早春の野鳥を観察(雨天中止)

- ネイチャーセンターでは、ご希望の方に双眼鏡や図鑑を貸し出しています。気軽にお尋ねください。